



平成 23 年 12 月 6 日

報道資料

一般社団法人日本オーディオ協会

平成 23 年度 第 16 回「音の匠」の顕彰

一般社団法人日本オーディオ協会（会長 校條 亮治）は、音楽、オーディオ、レコードなど「音」の文化について多くの人々に認識していただき、オーディオ文化と産業の発展のために、一般社団法人日本レコード協会、社団法人日本音楽スタジオ協会などと協調して、1994 年に 12 月 6 日を「音の日」と決めました。

この 12 月 6 日は、かの発明王トーマス・エジソンが 1877 年世界初の蓄音機「フォノグラフ」を発明した日であり、音の記録と再生の文化を生んだオーディオ誕生の記念日ということになります。

当協会ではこの「音の日」にちなみ、1996 年より、音を通じて私たちの暮らしに関わり、社会に貢献されている方々を「音の匠」として顕彰し、オーディオ、音楽、放送業界のみならず、広く一般の方々に、素晴らしい音の世界を認識していただくべく、活動を続けてまいりました。

本年度は、日本古来の尺八のさらなる普及のため、容易に入手可能な素材のノブレ管（水道用塩ビ管）に新技術によるコーティング処理を施すことで竹製の尺八に近い音色を持つ楽器を開発し、小・中学生、初心者など多くの方々に尺八本来の音色を体験してもらうことで尺八の普及活動を続けてこられた三橋貴風氏を「音の匠」として顕彰いたします。

平成 23 年度「音の匠」

三 橋 貴 風（みつはし きふう）氏 （尺八奏者）

以上

（添付資料）

1. 顕彰者のプロフィール
2. 過去の「音の匠」受賞者一覧

データ資料は報道関係者様専用ダウンロードサイトよりご利用いただけます。

アドレス <http://www.jas-audio.or.jp/press/>